

【地域枠以外の入試枠】

6. 貴医学部・医科大学では、平成20年度において、一般入試とは別に、卒業後に都道府県内に勤務を条件とする奨学金の貸与のある地元以外の出身者を対象とした選抜制度(地元出身者が出願可能かは問いません。以下「地域枠以外の入試枠」と表記します)がありますか。

1) 採用している。

2) 採用していない。

3) 今年度は行なわなかったが、行なう予定がある。

その場合、予定されている年度が決まっていればご記入ください。平成( )年度

また、その際の募集定員が決まっていればご記入ください。( )名

7. 「地域枠以外の入試枠」を行なったご経験のある医学部・医科大学にお聞きます。  
過去5年間(平成16年2004年以降)の「地域枠以外の入試枠」の定員をお書きください。

平成16年(2004年) \_\_\_\_\_名

平成17年(2005年) \_\_\_\_\_名

平成18年(2006年) \_\_\_\_\_名

平成19年(2007年) \_\_\_\_\_名

平成20年(2008年) \_\_\_\_\_名

平成15年度(2003年)以前から行なっておられるところにお聞きます。

始められたのはいつで、その時の定員は何名でしたか。

昭和・平成( )年 西暦( )年 \_\_\_\_\_名

8. 平成20年度に、「地域枠以外の入試枠」を行なったところにお聞きます。  
行なわれなかったところは、11. に進んでください。

a) 「地域枠以外の入試枠」の応募状況について

応募した受験生の数 \_\_\_\_\_名

「地域枠以外の入試枠」としての正規格者数 \_\_\_\_\_名

「地域枠以外の入試枠」としての補欠合格者数 \_\_\_\_\_名 (補欠合格者がいる場合)

「地域枠以外の入試枠」としての入学者数 \_\_\_\_\_名

b) 出願期間および入学試験の時期について

1) 出願期間、入学試験の日程とも一般入試と同じである。

2) 出願期間は異なるが、入学試験の日程は一般入試と同じである。

3) 出願期間は一般入試と同様だが、入学試験の日程は一般入試と異なる。

4) 出願期間、入学試験の日程とも一般入試と異なる。

入学試験の日程についてお教えてください。

ア) 前期日程 イ) 後期日程 ウ) 中期日程 エ) その他

c) 出願時に提出する書類等について

1) 一般入試と特に違いはない。

2) 一般入試で提出するものに加えて必要なものがある。

以下のものから、必要なものをお選びください(複数回答可)。

ア) 出身高等学校長の推薦書

イ) 自己推薦書(応募への意気込み等)

ウ) その他 具体的に ( )

( )

d) 「地域枠以外の入試枠」において行なっている(合否判定に用いている)ものをお選びください。(複数回答可)

- ア) センター試験の得点
- イ) 高等学校における成績(内申書)
- ウ) 出願時に提出した書類(自己推薦書・活動記録など)
- エ) 学力考査(試験問題)
- オ) 小論文
- カ) 面接(個人)
- キ) 面接(グループ)
- ク) その他 具体的に ( )  
( )  
( )

9. 「地域枠以外の入試枠」での入学生に対して支給される奨学金の内容をお聞かせください。(複数回答可)

- ア) 入学料(相当額)
- イ) 授業料(相当額)
- ウ) 実習費(相当額)
- エ) 奨学金 月額( )円
- オ) その他 具体的にお聞かせください。  
内容 ( ) 年額( )円  
内容 ( ) 年額( )円  
内容 ( ) 年額( )円

貴医学部・医科大学が私立の場合は、学費の詳細と支給される奨学金の額を下記にご記入ください。

	規定されている額(万円)	奨学金の額(万円)
入学料(入学時)		
授業料(年額)		
実習費(年額)		
寄付金(入学時)		
奨学金(月額)		
その他 ( )		
その他 ( )		

10. 「地域枠以外の入試枠」で入学し、奨学金の支給を受けた学生の卒業後の義務についてお聞きします。貴医学部・医科大学で詳細がわかりにならない場合は、都道府県の担当課についてご記入いただければ、当方で確認いたします。

都道府県担当課( )

連絡先(電話番号等)がわかればご記入ください。( )

i) 勤務する期間

奨学金を受けた期間の( )にあたる期間  
上記の期間には初期臨床研修(2年間)を 含む ・ 含まない(どちらかに○)

ii) 勤務する場所(複数回答可)

- ア) へき地・離島の診療所  
イ) へき地・離島の公的病院  
ウ) へき地・離島以外の地方の公立病院  
エ) 都市部も含めた公立病院  
オ) 産科・小児科等の不足している診療科  
具体的に想定されている診療科をお書きください。  
( )  
カ) その他  
( )

iii) 勤務する際の身分(複数回答可)

- ア) 常勤の都道府県職員  
イ) 常勤の市町村職員  
ウ) 非常勤の都道府県職員  
エ) 非常勤の市町村職員  
オ) 上記以外の都道府県職員(期限付き職員として採用等)  
( )  
カ) 上記以外の市町村職員(期限付き職員として採用等)  
( )  
キ) その他  
( )

【地域で勤務する医師を養成するための奨学金制度】

11. 貴医学部・医科大学では、一般入試による在學生(入學生を含む)を対象とした、卒業後に都道府県内に勤務を条件とする奨学金制度(以下、「地域勤務医師奨学金制度」と表記します)を採用しておられますか。

- 1) 採用している。  
2) 採用していない。  
3) 今年度は行なわなかったが、行なう予定がある。  
その場合、予定されている年度が決まっていればご記入ください。平成( )年度  
また、その際の募集定員が決まっていればご記入ください。( )名

12. 「地域勤務医師奨学金制度」を行なったご経験のある医学部・医科大学にお聞きします。  
過去5年間(平成16年2004年以降)の募集定員および採用人数をお書きください。

平成16年(2004年)	募集定員	_____名	採用人数	_____名
平成17年(2005年)		_____名		_____名
平成18年(2006年)		_____名		_____名
平成19年(2007年)		_____名		_____名
平成20年(2008年)		_____名		_____名

平成15年度(2003年)以前から行なっておられるところにお聞きします。  
始められたのはいつで、その時の定員は何名でしたか。

昭和・平成( )年 西暦( )年 \_\_\_\_\_名

13. 平成20年度に、「地域勤務医師奨学金制度」を行なったところにお聞きします。  
行なわれなかったところは、16. に進んでください。

a) 「地域勤務医師奨学金制度」の平成20年度の応募状況について  
応募した在学生の数 \_\_\_\_\_名

b) 応募期間について

- 1) 随時。
- 2) 年度初めの一定の期間。
- 3) その他。

( )

c) 応募することができる学生の学年についてお教えてください(複数回答可)。

- ア) 1年生
- イ) 2年生
- ウ) 3年生
- エ) 4年生
- オ) 5年生
- カ) 6年生

d) 応募時に提出する書類等について以下から、必要なものをお選びください(複数回答可)。

- ア) 自己推薦書(応募への意気込み等)
- イ) 成績証明書
- ウ) その他 具体的に ( )  
( )  
( )

e) 「地域勤務医師奨学金制度」の採用を決める際、行なわれているものをお選びください。  
(複数回答可)

- ア) 提出された書類による選考
- イ) 面接(個人)
- ウ) 面接(グループ)
- エ) その他 具体的に ( )  
( )

f) 現在、「地域勤務医師奨学金制度」により奨学金を受け取っている学生の人数をお教えください。

- ア) 1年生 ( )名
- イ) 2年生 ( )名
- ウ) 3年生 ( )名
- エ) 4年生 ( )名
- オ) 5年生 ( )名
- カ) 6年生 ( )名

14. 「地域勤務医師奨学金制度」で、学生に対して支給される奨学金の内容をお聞かせください。  
(複数回答可)

- ア) 入学料(相当額)
- イ) 授業料(相当額)
- ウ) 実習費(相当額)
- エ) 奨学金 月額( )円
- オ) その他 具体的にお聞かせください。
  - 内容 ( ) 年額( )円
  - 内容 ( ) 年額( )円
  - 内容 ( ) 年額( )円

貴医学部・医科大学が私立の場合は、学費の詳細と支給される奨学金の額を下記にご記入ください。

	規定されている額(万円)	奨学金の額(万円)
入学料(入学時)		
授業料(年額)		
実習費(年額)		
寄付金(入学時)		
奨学金(月額)		
その他 ( )		
その他 ( )		



15. 「地域勤務医師奨学金制度」により、奨学金の支給を受けた学生の卒業後の義務についてお聞きします。貴医学部・医科大学で詳細がおわかりにならない場合は、都道府県の担当課についてご記入いただければ、当方で確認いたします。

都道府県担当課( )

連絡先(電話番号等)がわかればご記入ください。( )

i) 勤務する期間

奨学金を受けた期間の( )にあたる期間

上記の期間には初期臨床研修(2年間)を 含む ・ 含まない(どちらかに○)

ii) 勤務する場所(複数回答可)

ア) へき地・離島の診療所

イ) へき地・離島の公的病院

ウ) へき地・離島以外の地方の公立病院

エ) 都市部も含めた公立病院

オ) 産科・小児科等の不足している診療科

具体的に想定されている診療科をお書きください。

( )

カ) その他

( )

iii) 勤務する際の身分(複数回答可)

ア) 常勤の都道府県職員

イ) 常勤の市町村職員

ウ) 非常勤の都道府県職員

エ) 非常勤の市町村職員

オ) 上記以外の都道府県職員(期限付き職員として採用等)

( )

カ) 上記以外の市町村職員(期限付き職員として採用等)

( )

キ) その他

( )

【その他の推薦入試】

16. 貴医学部・医科大学では、平成20年度において推薦入試制度(いわゆるAO入試等)を採用しておられますか。

1) 採用している。

2) 採用していない。

3) 今年度は行なわなかったが、行なう予定がある。

その場合、予定されている年度が決まっていればご記入ください。平成( )年度

17. 推薦入試制度(いわゆるAO入試等)を行なったご経験のある医学部・医科大学にお聞きします。過去5年間(平成16年2004年以降)の推薦入試制度の定員をお書きください。

平成16年(2004年) \_\_\_\_\_名  
平成17年(2005年) \_\_\_\_\_名  
平成18年(2006年) \_\_\_\_\_名  
平成19年(2007年) \_\_\_\_\_名  
平成20年(2008年) \_\_\_\_\_名

平成15年度(2003年)以前から行なっておられるところにお聞きします。  
始められたのはいつで、その時の定員は何名でしたか。

昭和・平成( )年 西暦( )年 \_\_\_\_\_名

【卒前教育】

「地域枠選抜」等(「地域枠外の入試枠」を含む)、卒業後地域の医療機関で勤務する医師を養成する目的で選抜された学生の卒前教育についてお聞きします。

なお、貴医学部・医科大学において独自と思われる教育カリキュラムがありましたら、下記にご回答いただくとともに、カリキュラムの概要をまとめた資料を、調査用紙と一緒にご返送いただければ幸いです。

(early exposure)

18. 医学部・医科大学入学後の早期に地域の医療を体験させることを目的とした、へき地等の診療所や中小の病院等での実習は行なわれていますか。(複数回答可)

- ア) 正規のカリキュラムとして、全ての学生でおこなわれている。  
イ) 正規のカリキュラムとして、選択実習などで選んだ学生におこなわれている。  
ウ) 「地域枠選抜」等で入学した学生に対して行なっている(正課外のカリキュラムを含む)。  
エ) 学生の自主的なサークル活動(学生自治会を含む)などで行なわれている。  
オ) その他 [運営、対象などをお分かりになる範囲でお書きください。]  
[  
カ) 知っている限り、学内の学生に対してそのような実習は行なわれていない。]

(継続的な体験)

19. 問18のearly exposure以降で、へき地等の診療所や中小の病院、等における保健・医療・福祉などを体験する実習は行なわれていますか。(複数回答可)

- ア) 正規のカリキュラムとして、全ての学生でおこなわれている。  
イ) 正規のカリキュラムとして、選択実習などで選んだ学生におこなわれている。  
ウ) 「地域枠選抜」等で入学した学生に対して行なっている(正課外のカリキュラムを含む)。  
エ) 学生の自主的なサークル活動(学生自治会を含む)などで行なわれている。  
オ) その他 [運営、対象などをお分かりになる範囲でお書きください。]

カ) 知っている限り、学内の学生に対してそのような実習は行なわれていない。

(「地域枠選抜」学生相互のサポート)

20. 「地域枠選抜」などにより入学した学生に対し、学業や将来への不安、一般選抜による学生とは異なる使命を持っていることなどについて、該当学生相互の意見交換などをサポートする機会や組織がありますか。(複数回答可)。

- ア) 都道府県ならびに大学も関与した組織があり、活動を行なっている。  
イ) 都道府県が関与する組織があり、活動を行なっている  
ウ) 学生の自主的な組織があり、活動を行なっている。  
エ) 必要性は感じるが、現在対応していない。  
オ) その他 [運営、対象などをお分かりになる範囲でお書きください。]

カ) 使命を持って入学した学生であり、特にサポートは必要でないと考えている。

(地域医療の教育・研究およびロールモデル)

21. 貴医学部・医科大学には、地域医療、プライマリケアや総合診療などについて、教育・研究を行なう講座はありますか。但し、附属病院における「総合診療部」などの診療部門のみのものは除きます。

- 1) ある 講座の名称をお書きください。( )  
2) 設立予定である 予定年度が分かればお書きください。( )  
3) ない  
4) その他

22. 前問で「ある」と回答された施設にお聞きします。講座のスタッフ構成をお聞かせください。

(専任) 教授 ( )名  
准教授 ( )名  
講師 ( )名  
助教 ( )名

専任スタッフのうち、実際にへき地・離島等における勤務経験のある医師はおられますか。

- 1) いる その場合何人おられますか。( )人  
2) いない  
3) その他

学内の兼務スタッフや学外の所属の非常勤スタッフ、大学院生・研究生がおられる場合、下記にご回答ください。

(学内の兼務) 教授 ( )名 (学外・非常勤) 教授 ( )名  
准教授 ( )名 准教授 ( )名  
講師 ( )名 講師 ( )名  
助教 ( )名 助教 ( )名

大学院生 ( )名  
研究生 ( )名



(地域医療の後期研修プログラム)

23. 貴医学部・医科大学附属病院では、地域医療を指向した医師のための後期研修プログラムはありますか。

- 1) ある プログラムの名称をお書きください。( )
- 2) ない
- 3) その他

「ある」と回答されたところに伺います。

研修プログラムの概要をお聞かせください。必要であれば続き紙をつけてください。

(研修終了後の地域医療のプログラム)

24. 貴医学部・医科大学附属病院では、研修(初期および後期)終了後の医師を対象とした地域医療を指向したプログラムはありますか。

- 1) ある プログラムの名称をお書きください。( )
- 2) ない
- 3) その他

「ある」と回答されたところに伺います。

研修プログラムの概要をお聞かせください。必要であれば続き紙をつけてください。

25. 都道府県や市町村などの出資による、地域医療あるいは、へき地医療、家庭医療等を目的とした寄付講座等の開設はありますか。

- 1) ある
- 2) 設立予定である 予定年度が分かればお書きください。( )
- 3) ない

「ある」、「設立予定である」と回答されたところに伺います。

講座の名称、開設趣旨、予算規模、開設期間等の概要をお聞かせください。「設立予定」の場合はわかる範囲でけっこうです。必要であれば続き紙をつけてください。

**ありがとうございました。**

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
今道英秋	離島・へき地に対応すべき眼科・耳鼻咽喉科の救急疾患	救急医療ジャーナル	16巻4号	14-17	2008
今道英秋、鈴木正之	離島等のへき地を有する小規模市町村の初期救急医療体制の分析および初期救急医療体制を向上させるための方策に関する検討	日本臨床救急医学会雑誌	(投稿中)		
今道英秋	「離島へき地医療に関わる教育の研修のあり方」～「へき地・離島医療マニュアル」	へき地離島救急医療研究会誌	(投稿中)		